

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになったよ	適宜	どうとくが はじまるよ	道徳科では、何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて見通しをもたせ、これからの学びへの期待感を高める。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのか。 ①心は一人一人にあり、それぞれ違うことを知る。 ②教科書 P4 の絵を見て、道徳科は「自分のこと」「相手のこと」「みんなのこと」「命や自然など」について考えていく時間であることを伝える。 ③教科書 P5 の上段の絵と、話し合うときの約束を見て、道徳科は、みんなと話し合いながら、いろいろな心について考える時間であることを伝える。 ④教科書の最初の絵を見て、見つけたことや思ったことを発表する。 ⑤巻頭詩をみんなで読む。 ⑥巻末「まなびの しろく」の使い方を知り、シールを貼る。		
	4 月 (3)	【がっこう だいすき】 C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 1 がっこう だいすき	学校生活の絵を見て思ったことを話し合う活動などを通して、先生や上級生、友達と共に過ごすよさについて考えさせ、クラスや学校の生活をみんなで楽しくしようとする心情を育てる。	★学校では、どんな楽しいことがあるかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「思ったことは、何でも話していい」ことを確認する。 ②学校で楽しみにしていることを思い起こし、発表する。 ③授業中の絵を見て、絵の中の子どもたちがどうしてその表情をしているのかを想像し、発表する。 ④休み時間と清掃時間の絵を見て、絵の中の子どもたちがどんなことを考えているのかを想像し、発表する。 ⑤これから、学校でどんなことを楽しみにしているのかを発表する。 ⑥巻末「まなびの しろく」にシールを貼る。	○学校生活をみんなと楽しく過ごすよさ(楽しさ)について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 入学してからの学校生活を楽しく過ごしているかと、自分を見つめて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、学校にあるたくさんの楽しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 学校生活に積極的に関わり、もっと楽しいものにしたいと考えている。	特別活動(学級活動) 共生
	4 月 (4)	【きもちの よい せいかつ】 A (3) 節度、節制 2 きもちの よい せいかつ	一日の生活を絵で確認し合う活動などを通して、気持ちのよい毎日を過ごすために大切なことについて考えさせ、生活の中で気をつけたいことを考え、気持ちのよい生活をしようとする実践意欲を育てる。	★毎日を気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切かな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「みんなに聞かえるように話す」ことを確認する。 ②朝、学校に来るまでにどんなことをしているかを振り返り、発表する。 ③起床、朝食、歯磨きの絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ④登校時の絵を見て、「いいな」と思うことや「おかしいな」と思うことを発表する。 ⑤買い物の手伝い、入浴、就寝の絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ⑥毎日気持ちよく過ごすために、どんなことが大切かを考え、発表する。 ⑦巻末「まなびの しろく」にシールを貼る。	○生活の中で気をつけたいことを考え、気持ちのよい生活をしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、決まった時間に寝起きしたり、しっかりと食事をしたり、安全に登下校したりしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、毎日を気持ちよく過ごすために大切なことはたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 毎日を気持ちよく過ごすために、どんなことに気をつけていけばよいかを考えている。	健康教育 消費者教育 食育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせい になったよ	5月 (2)	【あかるい あいさつ】 B (8) 礼儀 3 あかるい あいさつ	さまざまな場面での挨拶を考える活動などを通して、自分も相手も気持ちよくなる挨拶とはどんな挨拶かについて考えさせ、進んで明るい挨拶をしようとする実践意欲を育てる。	★自分も相手も気持ちよくなるのは、どんな挨拶かな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「話している人の方を見る」ことを確認する。 ②どんなときにどんな挨拶をしているかを振り返り、発表する。 ③「あかるい あいさつ」の絵を見て、それぞれの場面の吹き出しに入る挨拶を考え、発表する。 ④考えた挨拶を基に動作化をし、感じたことを出し合う。 ⑤自分も相手も気持ちよくなる挨拶は、どんな挨拶かを話し合う。 ⑥これまでの自分の挨拶のしかたを振り返り、これからどんな挨拶をしたいか発表する。 ⑦巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで明るい挨拶をすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、自分も相手も気持ちよくなる挨拶をしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 挨拶をする側とされる側の立場から、挨拶することの気持ちよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分も相手も気持ちよくなるために、これからどんな挨拶をしていきたいかを考えている。	国語科
	5月 (3)	【なかよくね】 B (9) 友情、信頼 4 なかよくね	友達と過ごしている絵を見て気づいたことを話し合う活動などを通して、友達といっしょに活動する楽しさや助け合うことの大切さについて考えさせ、進んで友達と関わり、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	★友達と仲よくしたり、助け合ったりすると、どんないいことがあるのかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「友達の話をよく聞く」ことを確認する。 ②入学して、友達といっしょにできていいな、楽しいなと思うことを出し合う。 ③休み時間と給食の時間の絵を見て、どのような場面でどんな声をかけ合っているかを想像し、発表する。 ④友達と仲よくなれる言葉を使って動作化し、そのときの気持ちを発表する。 ⑤友達と仲よくしたり助け合ったりすると、どんないいことがあるかを考え、話し合う。 ⑥これまでの自分は、友達と仲よくしたり助け合ったりしていたかを振り返り、これからどんなふうに関わりたいかを考え、発表する。 ⑦巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで友達と関わり、仲よく助け合おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と仲よくしたり助け合ったりしているか、また、そうできないことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達と仲よくしたり助け合ったりするために、さまざまな関わり方ができることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、友達と助け合い、仲よくしていこうと考えている。	特別活動(学級活動) 共生
	5月 (4)	【よい ことと わるい こと】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 5 よい ことと わるい こと	休み時間の絵を見て気づいたことを話し合う活動などを通して、よいと思ったことをするとどんな気持ちになるかについて考えさせ、よいことと悪いことを考えて行動しようとする判断力を育てる。	★よいと思ったことをすると、どんな気持ちになるかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「友達はどんな考えかを想像する」ことを確認する。 ②掲示された写真を見て、感想を発表し合う。 ③教科書 P14・15 の絵を見て、よいことをしている子を見つけ、よいことだと判断した理由を発表する。 ④教科書 P14・15 の絵を見て、悪いことをしている子を見つけ、その子はどうすればよかったのかを発表する。 ⑤よいことを進んで行った経験を振り返り、そのときの気持ちを発表する。 ⑥巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○よいことと悪いことを考えて行動しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、よいことと悪いことの区別をしているか、また、よいと思うことを進んで行っているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達がこれまでにしてきたよいことを聞いて、よいことには、さまざまな考え方があることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 よいことを進んで行ったときの気持ちよさに気づき、自分がよいと思ったことを進んで行おうと考えている。	安全教育 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになつたよ	6月 (1)	【じぶんの いい ところ】 A (4) 個性の伸長 6 みんな じょうず	自分の「ほめじょうず」なところを喜ぶ「ぼく」の姿などを通して、自分自身の特徴について考えさせ、自分の長所を大事にしようとする実践意欲を育てる。	★じぶんの いい ところを みつけよう。 ①自分自身のいいところはどこか考える。 ②「みんな じょうず」を読み、「ぼく」は、どんなところが「ほめじょうず」なのかを考え、発表する。 ③友達や家の人のいいところを見つけ、発表する。 ④自分のいいところや、ほめたいところを見つけ、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の長所を大事にしようということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にはどんなよさがあるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、さまざまな側面から自分や友達、家の人のよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のいいところを、これからも見つけていこうと考えている。	共生 キャリア教育
	6月 (2)	【いきて いるって いい な】 D (17) 生命の尊さ 7 みんな いきてる	絵を手がかりに、日々の生活で実感する身体感覚や感情を思い起こす活動などを通して、生きているよさやすばらしさについて考えさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★「いきて いるって、いいな。」と かんじるのは、どんな ときかな。 ①毎日さまざまな感覚や感情を抱えていることを意識し、どんなことを感じているかを振り返り、出し合う。 ②「みんな いきてる」の絵を見て、五つの絵の中で、自分も同じように感じたことのある絵はあるか、また、同じように感じたのはどんなときかを考え、発表する。 ③自分が、「生きているっていいな。」と 感じるのはどんなときかを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きているよさを感じ、生命を大切にしようということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分が普段どんな感情や感覚をもって生活しているかについて、改めて自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、誰もが毎日さまざまなことを感じて生きていることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、あたりまえに感じられる感情や感覚を大切にしていこうとしている。	共生 安全教育 健康教育 食育
	6月 (3)	【したい ことが ある ときは】 A (3) 節度、節制 8 かぼちゃの つる	自分のしたいことだけ優先させ、かぼちゃが、最後にはつるを切られて泣く話などを通して、自分のしたいことをするときを考えなければならないことについて考えさせ、わがママを抑えて快適な毎日を送ろうとする判断力を育てる。	★じぶんの したい ことが ある ときに、かんがえるといいのは、どんな ことかな。 ①したいことだけをしているとどうなるかを想像し、出し合う。 ②「かぼちゃの つる」を読み、かぼちゃがみんなの言うことを聞かなかったのはどうしてかを考え、発表する。 ③かぼちゃがつるを伸ばすとき、どんなことを考えればよかったかについて話し合う。 ④自分がかぼちゃと同じようなことをしてしまったことはないか思い出し、それがどんなときだったか発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○わがママを抑えて快適な毎日を送ろうということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、わがママをしてしまうことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい自分のしたいことだけをしてしまう気持ちや、他者からの注意を受け入れることの大切さなどの面から、自分がしたいことをするときを考えなければならないことについて気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、わがママをすることなく、快適な毎日を送るために、どんなことに気をつければよいかを考えている。	共生
	6月 (4)	【きまりを まもる】 C (10) 規則の尊重 9 どうして こう なるのかな	校内で起こりうる問題を描いた絵から気づいたことを話し合う活動などを通して、約束やきまりを守る意義を考えさせ、進んで約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようとする判断力を育てる。	★やくそくや きまりは、どうして まもらなければ いけないのかな。 ①自分たちの学校にどんな約束やきまりがあるか思い出し、発表する。 ②「どうして こう なるのかな」を読み、「①」「②」「③」の場面は、どんなきまりを守らなかったために起こった出来事なのかを考え、発表する。 ③約束やきまりを守ると、どんないいことがあるかを考え、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、約束やきまりを守っているか、また、みんなが使う物や場所を大切にしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況を想定して、約束やきまりを守ることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、どんな気持ちで約束やきまりを守っていこうかと考えている。	法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになったよ	適宜	★こころを かよわそう★ B (9) 友情、信頼 年間を通して、適宜、「ともだちと なかよくすごそう」を読み、自分のことを伝え合う活動を通して、友達と仲よくなることについての意識をもつ。				
	7月 (1)	【しょうじきな ころで】 A (2) 正直、誠実 10 きんの おの	正直なきこりとうそつきのきこりの話などを通して、その違いから、正直でいることの大切さについて考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★しょうじきで いる ことが たいせつなのは、どうしてかな。 ①うそをつきそうになるのはどんなときか考え、発表する。 ②「きんの おの」を読み、初めのきこりはどうして正直に答えたのかを考え、発表する。 ③神様はどんなことを思っ、きこりに斧を三つともあげたのか考え、話し合う。 ④人はうそをついたとき、どんな気持ちになるのかを考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、うそをついたりごまかしたりせず正直に過ごしているか、また、どんなときにうそをついてしまうのかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、正直でいることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 うそをついたり、ごまかしたりせず、正直でいるためにはどうすればよいかを考えている。	図書館活用
	7月 (2)	【かぞく だいすき】 C (13) 家族愛、家庭生活の充実 11 かぞくと おはなし	いろいろな動物の家族の会話を想像する活動などを通して、自分の家族と話したいことを考えさせ、家族の温かさや優しさを大切に思い、敬愛の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	★かぞくと、どんな おはなしを したいかな。 ①自分が気に入った動物の家族を選び、その理由とともに、発表する。 ②動物の家族の絵を見て、どんなことを話しているかを想像し、動物の家族になったつもりで発表する。 ③自分は家族とどんな話をしたいか考え、話し合う。 ▼「かんがえる ヒント」(どうとくで つかう ことば)を読み、発表するときに活用する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族の温かさや優しさを大切に思い、敬愛の気持ちをもって接しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族とどんな話をしているか、また、そのときどんな気持ちかを思い出して考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 家族が自分にさまざまな優しい心遣いを向けてくれていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を大切にしてくれる家族と、どんなことをしたいかを考えている。	生活科
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(4～7月) ここまでで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (9) 友情、信頼】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (4) 個性の伸長】【D (17) 生命の尊さ】【A (3) 節度、節制】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかななどに着目する。					
まわりのひとと なかよくね	9月 (1)	【しげんと なかよく】 D (18) 自然愛護 12 あさがお	丁寧に観察して書いたあさがおの観察記録などを通して、草花や動物はどんな気持ちで世話をすればよいかについて考えさせ、優しい気持ちで動植物に接しようとする心情を育てる。	★くさばなや どうぶつは、どんな きもちで せわを すれば いいでしょう。 ①草花や動物の世話をした経験を振り返り、出し合う。 ②「あさがお」を読み、この文を書いた子どもはあさがおと仲よくなったと思うかを考え、発表する。 ③自分が草花や動物と仲よくなったと思った経験はあるか、また、どんなことで仲よくなったと思ったのかを出し合い、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○優しい気持ちで動植物に接することのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、どのように動植物に接しているかと、自分を見つめて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 優しい気持ちで動植物に接することの大切さを、人間と動植物の両側から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、動植物に接するときは、どんな気持ちで接していきたいかを考えている。	国語科 生活科 環境教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
まわりの ひとと なかよくね	9月 (2)	【いきて いるから できる こと】 D (17) 生命の尊さ 13 いきて いるって	体のぬくもりや心臓の鼓動を感じるなど、生きているからこそ実感することを表した詩などを通して、生きているとどんないいことがあるかを考えさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★いきて いると、どんな いい ことが、あるでしょう。 ①今日、朝、目が覚めたとき、最初に思ったのはどのようなことか思い出し、発表する。 ②「いきて いるって」を読み、「わたし」はどうして「いきて いるって、なんだか いいね。」と思ったのかを考え、発表する。 ③生きているからできることには、どんなことがあるかについて考え、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きていることのよさを感じ、生命を大切にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の生活の中で、「自分は生きている。」と実感するのはどんなときか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見を聞いて、生きていることのすばらしさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生きることのすばらしさを感じ取ることにより、生命を大切にしていこうと考えている。	共生 健康教育	
		★かんじよう いのち★ どきどきがきこえるかな。 D (17) 生命の尊さ 自分や友達、動物などの心臓の音を聞き、生きている「証」を実感し、生きていることのすばらしさを感じ取る。					共生
	9月 (3)	【おせわに なって いるひとに】 B (7) 感謝 14 ありがとうが いっぱい	家族や学校の調理員さんなどに「ありがとう」と言う「わたし」の気持ちを話し合う活動などを通して、どんな人にお世話になっているのかを多様に考えさせ、感謝の心を伝えようとする実践意欲を育てる。	★どんな とき、どんな ひとに、おせわに なって いるでしょう。 ①どんなときに、「ありがとう」と言うかを振り返り、出し合う。 ②「ありがとうが いっぱい」を読み、「わたし」は、お父さん、お母さん、給食の調理員さん、交通指導員さんにどんな気持ちで「ありがとう。」と言っているかを考え、話し合う。 ③自分は、誰にどんな「ありがとう」を言いたいかを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○日頃、お世話になっている人たちに、感謝の気持ちを表すことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はどんなときに感謝の気持ちを表したことがあるかと振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、自分が「ありがとう。」と言いたい相手や言うべき相手はたくさんいることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれている人に対して、感謝の気持ちを伝えていこうと考えている。	共生 キャリア教育	
9月 (4)	いじめを ゆるさない ところ 【やさしい きもちで】 B (6) 親切、思いやり 15 やさしい ひと、 みつけた	学校生活の絵から、友達に優しいことをしている人を見つける活動などを通して、優しい気持ちとはどんな気持ちなのかを考えさせ、相手のことを考え、優しく接しようとする心情を育てる。	▼「やさしい ひと、みつけた」と「あしたは えんそく」を読んで、友達と仲よくすることについて考えることを確認する。 ★やさしい きもちとは、どんな きもちでしょう。 ①周りの人に優しくしてもらった経験があるかを思い起こし、出し合う。 ②教科書 P48・49 の絵の中から優しいことをしている人を見つけ、発表する。 ③②で見つけた人がどんな気持ちで相手に言葉をかけているかを想像し、話し合う。 ④自分も誰かに優しくしたことがあるか、また、それは誰にどんなことをしたときかを思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○相手のことを考え、優しく接しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 親切にされた経験や親切にした経験を思い起こし、自分事として考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 優しくした側と、優しくされた側の双方の立場から、優しい行動のもととなる気持ちや親切にすることの気持ちのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 困っている人に対して、親切な行動を取るためにはどうすればよいかを考えている。	いじめ問題 共生		

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
まわりの ひとと なかよくね	10月 (1)	【すきか きらいかで なく】 C (11) 公正、公平、社会正義 16 あしたは えんそく	好き嫌いで座席を選びたがるうさぎの行為などを通して、好きか嫌いかで行動を変えるのはどうしてよくないのかを考えさせ、自分の好き嫌いにとらわれず接しようとする判断力を育てる。	★すきか きらいかで する ことを かえるのは、どうして よく ないのでしょうか。 ①自分は、誰にでも同じようにすることができているかを振り返り、発表する。 ②「あしたは えんそく」を読み、うさぎさんに「おとなりは いや。」と言われたぞうさんとさるさんは、どんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③ねこさんに「おとなりは いや。」と言われて、うさぎさんはどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④好きか嫌いかですることを変えるのは、どうしてよくないのかについて考え、話し合う。 ▼教科書 P54 のコラム「こんな こと、して ない？」を読む。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の好き嫌いにとらわれず接することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の自分は、誰とでも仲よくしているか、相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 好き嫌いをする側やされる側の立場から、好き嫌いで態度を変えることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好みで態度を変えることなく、誰とでも仲よくしていきたくて考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生	
	適宜	★コラム★ <いじめを ゆるさない ところ> こんな こと、して ない？ A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (6) 親切、思いやり／C (11) 公正、公平、社会正義					いじめ問題
	10月 (2)	【よく ないと おもったら】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 17 ぼんたと かんた	迷いながらも、よくない誘いを断るぼんたの姿などを通して、よくないことをしないためにはどうすればいいのかを考えさせ、よいことを進んで行おうとする判断力を育てる。	★よくない ことを しないためには、どう すれば よいのでしょうか。 ①していいことか、しないほうがいいのか、迷ったことがあるかを思い出し、発表する。 ②「ぼんたと かんた」を読み、ずんずん歩いていくかんたを見たとき、ぼんたはどのような気持ちになったかを想像し、発表する。 ③ぼんたはどうして「ぼくは、いかないよ。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④自分で考えて決めたことがあるか、また、それはどのようなことかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うために大切な思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の行いを振り返って、正しいと思う行動ができているか、自己を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいことを行う気持ちよさと難しさの両面から、自分が正しいと思うことを行うことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 善悪を主体的に判断し、正しいことを進んで行うために、自分はどのようにしていきたいかについて考えている。	安全教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「がっこう」って、なんだろう。 関連する内容項目 C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 A (2) 正直、誠実／B (9) 友情、信頼／C (10) 規則の尊重 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「がっこう」とは何なのか、考えてみる。					
○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (9) 友情、信頼】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (4) 個性の伸長】【D (17) 生命の尊さ】【A (3) 節度、節制】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひと なかよくね	10月 (3)	【がっこうで たのしく】 C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 18 とりかえっこ	幼稚園生の自分と入れ替わったけんごが、学校の楽しさを聞いて気持ちが変わる話などを通して、学校にはどんな楽しさやよさがあるかを考えさせ、学校生活を楽しくしようとする実践意欲を育てる。	★がっこうには、どんな たのしい ことや いい ことが、あるでしょう。 ①学校で楽しいなと感じたことを思い起こし、出し合う。 ②「とりかえっこ」を読み、幼稚園生のけんごは、小学校でどんな楽しいことを見つけたかを考え、発表する。 ③「あしたも とりかえっこして くれる？」ときかれて、1年生のけんごが「だめだよ。」と言ったのはどうしてかについて考え、話し合う。 ④自分の学校やクラスの楽しいところについて考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○学校生活を楽しくしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 小学校に入学してから経験した楽しいことやうれしいこと、また、できるようになったことなどについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、学校やクラスには、さまざまなよさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 学校で前向きに楽しく生活するために、自分にはどんなことができるかを考えている。	
	10月 (4)	【がんばって はたらく】 C (12) 勤労、公共の精神 19 きゅうしょくとうばん	給食当番の仕事に取り組む「ぼく」の一生懸命な姿などを通して、みんなのために働くことのよさについて考えさせ、みんなのために役立とうとする心情を育てる。	★みんなの ために がんばる ことが できると、どんな きもちに なるでしょう。 ①日頃、自分の仕事をがんばってしているかを振り返り、発表する。 ②「きゅうしょくとうばん」を読み、「ぼくの ところで、みんなが まって いる」とき、「ぼく」はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③先生やみかさんが褒めてくれたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ④これまでに、みんなのためにがんばってよかったと思ったことはどんなことか振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○みんなのために役立とうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 みんなのためにがんばった経験や、そのときの気持ちについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、みんなの役に立つことには、さまざまな気持ちよさやうれしさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、みんなのために役立とうという意欲をもって	特別活動(学級活動) キャリア教育 食育
	11月 (1)	【あいさつを きちんと】 B (8) 礼儀 20 わすれて いる こと、なあい	つい挨拶を忘れる「ぼく」の姿などを通して、きちんと挨拶することの大切さについて考えさせ、感謝や謝罪の気持ちを素直に言葉や態度で伝えようとする判断力を育てる。	★きちんと あいさつする ことは、どうして たいせつなのでしょう。 ①自分は日頃、きちんと挨拶ができていたかを振り返り、発表する。 ②「わすれて いる こと、なあい」を読み、「ぼく」が「ありがとうございました。」と言ったとき、保健の先生はどうしてにっこりしたのかを考え、発表する。 ③「ぼく」もひろくんににっこりしたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ④きちんと挨拶することはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○感謝や謝罪の気持ちを素直に言葉や態度で伝えることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段から、きちんと挨拶しているか、気持ちのよい言葉遣いや振る舞いをしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 挨拶をされる側と挨拶をする側の双方の思いを考えることを通して、挨拶をすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 真心の籠もった挨拶をすることで、相手に気持ちを素直に伝えていこうとしている。	共生
	11月 (2)	【じぶんの しごとを し っかりと】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 21 おふろそうじ	風呂掃除に前向きに取り組むあきらの姿などを通して、勉強や仕事をしっかりとすることの気持ちよさについて考えさせ、自分のやるべきことをしっかりと行おうとする心情を育てる。	★じぶんの しごとを し っかりと すると、どんな きもちに なるでしょう。 ①自分が「がんばったな。」と思うのはどんなことかを思い起こし、出し合う。 ②「おふろそうじ」を読み、家の人に褒められたとき、あきらはどんなことを思ったかを考え、発表する。 ③あきらはどんな気持ちで「ぼく、やるもん。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④自分の仕事や勉強で、がんばってできるようになったことや、上手になったことがあるかを思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分のやるべきことをしっかりと行おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がやるべき勉強や仕事をしっかりと行っているか、また、続けているうちにできるようになったことや、上手になったことがあったかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分のやるべきことをしっかりと行うことのよさや、そのために必要な意志の強さなどについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、自分のやるべきことに前向きに取り組んでいこうと考えている。	キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひとと なかよくね	11月 (3)	【ともだちの ことを か んがえて】 B (9) 友情、信頼 2 2 二わの ことり	やまがらの誕生祝いに行くか、 うぐいすの家の音楽会の練習に 行くかで迷うみそさざいの姿な どを通して、友達のためにでき ることについて考えさせ、友達 と仲よくし、助け合おうとする 心情を育てる。	★ともだちの ために できる ことを かんがえましょ う。 ①友達がいてよかったと思うのは、どんなときかを振り返 り、出し合う。 ②「二わの ことり」を読み、迷ったみそさざいが、うぐい すのうちに飛んでいったのはどうしてかを考え、発表す る。 ③みそさざいはどんなことを考えながらやまがらのうちへ 行ったのかを考え、話し合う。 ④2羽の小鳥が、お誕生日のお祝いでどんな話をしたかを 演じ、考えたことを話し合う。 ▼教科書 P80 の「かんがえる ヒント」(えんじて か んがえよう)を読み、役制演技をする際に活用する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○友達と仲よくし、助け合おうとすることの大切さについて 考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達といっしょでよかったと思った経験はあるか、友達に どんなことをしてあげたり、してもらったりしているか、 自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、心から友達を思うことのよさにつ いての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達に対して、自分はどんなことができるかを考えてい る。	いじめ問題
	11月 (4)	【うつくしい ところ】 D (19) 感動、畏敬の念 2 3 ひしゃくぼし	自分よりも相手のことを思いや る女の子や母親の姿などを通し て、美しい心とはどんな心なの かを考えさせ、美しいものや清 らかなものに対する素直な感動 やすがすがしい思いを大事にし ようとする心情を育てる。	★うつくしい ところとは、どんな ところでしょう。 ①星を見て、どんなことを思うかを出し合う。 ②「ひしゃくぼし」を読み、この話ではどんな不思議なこ とが起こったのかを確認する。 ③この話の中で、美しい心だなと思うところはどこか、ま た、どうしてそう思うのかを話し合う。 ④美しい心だなと思った話を讀んだことがあるか、また、 それはどんな話を思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○美しいものや清らかなものに対する素直な感動やすがすが しい思いを大事にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、どのようなものに心を動かされてきたか、自分 を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との話し合いを通して、美しいと感じるものやその理 由はさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 美しいものを見つけたり、気づいたりしたときの気持ちよ さを大切にしたいと考えている。	図書館活用
	12月 (1)	【せかいの こどもたちと ともに】 C (16) 国際理解、国際親 善 2 4 せかいの こどもたち	世界の子どもたちの日常生活の 写真などを通して、他国の子ど もたちのさまざまな生活の様子 について考えさせ、他国の人々 や文化に親しもうとする実践意 欲を育てる。	★ほかの くにの こどもたちの せいかつの ようすに ついて、かんがえましょ。 ①自分が知っている国の名前を思い起こし、出し合う。 ②「せかいの こどもたち」の写真を見て、写真の子どもた ちが何をしているかを想像し、発表する。 ③自分の生活や遊びと似ているところと違うところを探 し、発表する。 ④世界の子どもたちとどんなことをいっしょにしてみたい かを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○他国の人々や文化に興味をもち、親しもうと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国のことでどんなことを知っているかと、自分を見つ めている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 他国の子どもたちと自分には、似ているところや違っ ているところがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国の生活や文化について興味をもち、もっと関わりたい という意欲をもっている。	国際理解教育
	12月 (2)	【かぞくの ために】 C (13) 家族愛、家庭生活 の充実 2 5 これなら できる	家庭の中で自分にできることを 探して行動する「まり」の姿な どを通して、家族のために何か ができたときの気持ちについて 考えさせ、進んで家の手伝いな どをして家族のために役に立 とうとする心情を育てる。	★かぞくの ために なにかが できた とき、どんな き もちに なるでしょう。 ①「これなら できる」を読み、「これなら できる。」と言 ったとき、まりはどんなことを考えていたかを想像し、 発表する。 ②まりはどうして他にもできることを増やしたくなったの かを考え、話し合う。 ③自分が家族のために「これなら できる。」と思うことは 何かを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族のために役に立つことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分は家族のためにどんなふうにお手伝いなど をしてきたかと、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 家族のためにできることはさまざまにあることを、友達と の話し合いなどを通して考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族の役に立つために、自分にはどのようなことができる かを考えている。	生活科 食育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひとと なかよくね	12月 (3)	【にほんの よい ところ】 C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 26 にほんの あそび	日本の伝統的な遊びの絵を手がかりに、日本に伝わる遊びについての知識や体験を交流する活動などを通して、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする実践意欲を育てる。	★にほんや、あなたが すんで いる ところに つたわる あそびを しりましょう。 ①自分はいつも、どんな遊びをしているかを思い起こし、出し合う。 ②「にほんの あそび」の絵を見て、絵の中にしたことのある遊びはあるかを探し、そのどんなところが楽しかったかを発表する。 ③絵の中の遊びの他に、自分が知っている昔からの遊びについて思い起こし、伝え合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで体験したことのある日本の伝統的な遊びや、そのおもしろさについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との話し合いを通して、日本に昔から伝わる遊びのおもしろさや、日本にはさまざまな伝統的な遊びがあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、日本の伝統的な遊びに興味をもち、日本の伝統や文化に親しもうとしている。	伝統文化教育
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月) ここまでに学んだ、【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 勤労、公共の精神】【B (8) 礼儀】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【B (9) 友情、信頼】【D (19) 感動、畏敬の念】【C (16) 国際理解、国際親善】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					
みんな で いっしょに	1月 (2)	【しんせつに すると】 B (6) 親切、思いやり 27 はしの うえの おおかみ	うさぎやきつねに意地悪をしていたおおかみが、くまに親切にされて改心する姿などを通して、誰かに親切にしたときの気持ちを考えさせ、相手を思いやり、優しく接しようとする心情を育てる。	★だれかに しんせつに すると、どんな きもちに なるでしょう。 ①これまでに、つい意地悪をしてしまった経験はないかを振り返る。 ②「はしの うえの おおかみ」を読み、おおかみはくまの後ろ姿を見送りながら、どんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③P95で「えへん、へん。」と言ったときと、P98で「えへん、へん。」と言ったときのおおかみの気持ちの違いを考え、話し合う。 ④誰かに親切にしたことはあるか、また、そのときどんな気持ちになったかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○相手を思いやり、優しく接しようとする心のよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の生活を振り返り、誰に対しても温かい心で接しているかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい意地悪をしてしまったときの思いと、親切にしたときの思いの両面から、誰かに対して親切にすることのよさや難しさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからの自分は、相手にどんな思いをもって接していきたいかを考えている。	いじめ問題
	1月 (3)	【だれに たいていも】 C (11) 公正、公平、社会正義 28 ジャングルジム	ねこを仲間外れにしようとするくまや、仲間外れにされて悲しむねこ、疑問を抱くさるのやり取りなどを通して、誰とも仲よくすることについて考えさせ、好き嫌いにとらわれず接しようとする判断力を育てる。	★だれとでも なかよく すること について、かんがえましょう。 ①自分は、みんなと仲よくできているかを振り返る。 ②「ジャングルジム」を読み、「②の場面」でくまさんはどんな気持ちで「ねこさんは、ちがう ところで あそんでよ。」と言ったのかを考え、発表する。 ③「④の場面」で、くまさんはどんなことを思っていたのかを考え、話し合う。 ④「⑥の場面」では、みんなで仲良く遊んでいることを確認し、「⑤の場面」でどんな話をしたか、くまさん、さるさん、ねこさんを演じて、考える。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○好き嫌いにとらわれず接しようとする大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、誰とでも仲よくしているか、仲間外れなどをしていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、誰とでも仲よくすることの大切さや難しさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 仲間外れにすることなく、誰とでも仲よくするために、どんなことを大切にすればよいかを考えている。	いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな で いっしょに	1月 (4)	じょうほうと むきあう 【みんなで つかう とき には】 C (10) 規則の尊重 29 みんなで つかう ものや ばしょ	公共の物や場所での約束やきまりを守る、たぬき、きつね、おおかみの行為などを通して、約束やきまりがある理由を考えさせ、約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようとする判断力を育てる。	▼約束やきまりはどうして守らなければいけないのかを、「みんなで つかう ものや ばしょ」を読んで考えることを確認する。 ★みんなで つかう ものや ばしょには、どうして やくそくや きまりが あるのでしょうか。 ①クラスや学校の約束を思い出し、出し合う。 ②「みんなで つかう ものや ばしょ」を読み、たぬきさん、きつねさん、おおかみさんになったつもりで、「①・②・③の場面」での「どうして〜」という質問に対する答えを考え、話し合う。 ③約束やきまりを守ってよかったと思ったことはあるか、また、それはどんな約束やきまりだったかを思い起こし、発表する。 ▼教科書 P108 のコラム「いろいろな やくそくや きまり」を読む。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにはどんな約束やきまりがあるか、また、自分はそれらを守っているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、みんなで同じ物を使うときや、みんなが使う場所での約束やきまりを守ることの意義について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 みんなが気持ちよく過ごせるようにするために、身の回りの約束やきまりを大切にしていこうと考えている。	情報モラル 法教育
	適宜	★コラム★ <じょうほうと むきあう> いろいろな やくそくや きまり C (10) 規則の尊重				情報モラル 法教育
	2月 (1)	【のびのびと せいかつする ために】 A (2) 正直、誠実 30 なわとびカード	縄跳びカードに真面目に取り組む「わたし」の姿などを通して、伸び伸びと生活するために大切なことを考えさせ、うそやごまかしをせず、自分に正直に生活しようとする判断力を育てる。	★のびのびと せいかつする ために たいせつな ことは、なんでしょう。 ①これまでに、ごまかしてしまいそうになったことはないかを振り返り、発表する。 ②「なわとびカード」を読み、ともみさんに「おまけしてあげるよ。」と言われたとき、「わたし」はどんなことを考えたかを想像し、出し合う。 ③「もう いちど とんで みるね。」の後に、「だってー。」と続けるとしたら、「わたし」は何と言ったと思うかを考え、話し合う。 ④伸び伸びと生活するために大切なことは何かを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、自分に正直に生活しようとするこのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 つい、うそやごまかしをしてしまいそうになることはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい、うそやごまかしをしたくなる気持ちと、うそやごまかしをすることで感じる後ろめたさの両面から、正直でいることの難しさやよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 うそをついたりごまかししたりせず、自分に正直でいるために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	体育科 特別活動(学校行事)
	2月 (2)	【すきな ことを みつけよう】 A (4) 個性の伸長 31 「すき」から うまれた 「そらめくん」	好きなことを生かして絵本作家になった「なかやみわさん」の話などを通して、自分の好きなことやいいところを見つけることについて考えさせ、自分の特徴に気づこうとする実践意欲を育てる。	★じぶんの すきな ことや じぶんの いい ところを みつけましょう。 ①「そらめくん」が出てくる絵本を読んだ経験はあるかを確認する。 ②『すき』から うまれた 『そらめくん』を読み、好きなことをしているとどんな気持ちになるかを考え、発表する。 ③ヒントを基に、自分の好きなことやいいところを見つけ、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の好きなことやいいところなど、自分の特徴について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の好きなことやいいところはどんなところか、また、それを伸ばそうとしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、好きなことを見つけたり、それを伸ばしたりすることのよさについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好きなことやいいところはどこかを考えている。	図書館活用 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな で いっしょに	2月 (3)	【がんばって つづける】 A (5) 希望と勇気、努力 と強い意志 3 2 やれば できるんだ	「わたし」が一生懸命にうんていの練習に取り組む姿などを通して、がんばって続けるとどんないいことがあるかを考えさせ、自分のやるべきことにくじけずに取り組もうとする実践意欲を育てる。	★がんばって つづけると、どんな いい ことが、あるでしょう。 ①これまでにがんばって続けたことはあるか振り返り、出し合う。 ②「やれば できるんだ」を読み、「わたし」はどんな気持ちで休みの日にもたくさん練習をしたのか考え、発表する。 ③「わたし」は、どうしてがんばった印が増えそうだったのかを考え、話し合う。 ④これまでに、「がんばって よかったな。」と思ったことはあるか、また、それはどんなことか振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分のやるべきことにくじけず取り組むことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでに自分自身ががんばった経験や、そのときの気持ちについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 何かを最後までやり通すことのすばらしさと難しさの両面から、諦めずに努力し続けることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、決めたことを諦めずにやり通すために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	体育科
	3月 (1)	【おおきく そだって】 D (17) 生命の尊さ 3 3 ちいさな ふとん	小さな布団で眠る生まれたばかりの弟の様子から自分の成長に気づく「わたし」の姿などを通して、成長を感じるときについて考えさせ、生きることのすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★おおきく なったと かんじるのは、どんな ときでしょう。 ①自分が小さかったときのことで覚えていることを思い起こし、出し合う。 ②「ちいさな ふとん」を読み、「わたし」はどうして「たからものをもっているような きもち」になったのかを考え、発表する。 ③「もう この おふとんでは ねられなく なったわね。」とお母さんに言われたとき、「わたし」はどんなことを思ったのかを考え、話し合う。 ④「自分は大きくなったな。」と覚えるのはどんなときかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きていることのすばらしさを感じ、生命を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りの人から大切にされて育ってきたことや、自分自身の成長について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との話し合いを通して、身体的成長や心理的成長などのさまざまな側面から、生きていることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 成長していくかけがえのない生命を大切にしていこうと考えている。	生活科 健康教育
	3月 (2)	【ありがとうの きもち】 B (7) 感謝 3 4 みんな みんな、 ありがとう	入学してから1年間を過ごし、さまざまな人の支えに気づいた「ぼく」の姿などを通して、お世話をしてくれる人々の善意や、それに対して自然に生まれた感謝の念について考えさせ、感謝の気持ちを伝えようとする心情を育てる。	★おせわに なって いる ひとたちへの、「ありがとう」の きもちを かんがえましょう。 ①入学してからどんなことがあったかを思い起こし、発表する。 ②「みんな みんな、ありがとう」を読み、「ぼく」は誰への、どんな「ありがとう」を見つけたかを考え、発表する。 ③「ひとりで おおきく なったんじゃないんだね。」と思った「ぼく」は、どんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④自分は、誰にどんな「ありがとう」を伝えたいかを考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族や日頃お世話になっている人に、感謝の気持ちを伝えようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでにどんな人にお世話になってきたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、自分の身の回りに、さまざまな感謝の気持ちがあることや、感謝の気持ちを向ける相手がたくさんいることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれる人の存在に気づき、感謝の気持ちを伝えていこうという意欲をもっている。	共生
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月) ここまでで学んだ、【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【A (4) 個性の伸長】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
		○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまでに学んだ、【C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(12)勤労、公共の精神】【B(8)礼儀】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【B(9)友情、信頼】【D(19)感動、畏敬の念】【C(16)国際理解、国際親善】【C(13)家族愛、家庭生活の充実】【C(15)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【B(6)親切、思いやり】【C(11)公正、公平、社会正義】【C(10)規則の尊重】【A(2)正直、誠実】【A(4)個性の伸長】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【D(17)生命の尊さ】【B(7)感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				